

山东师范大学  
硕士研究生入学考试试题

日语语言文学

考试科目:

基础日语 (715)

- 注意事项: 1. 本试卷共三道大题(共计个 19 小题), 满分 150 分;  
2. 本卷属试题卷, 答题另有答题卷, 答案一律写在答题卷上, 写在该试题卷上或草纸上均无效。要注意试卷清洁, 不要在试卷上涂划;  
3. 必须用蓝、黑钢笔或圆珠笔答题, 其它均无效。

\*\*\*\*\*

問題一、読解文(60点)

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(35点)

①旅は人生の姿である。旅において我々は日常的なものから離れ、そして①ジュンスイに観想的になることによって、平生は何か②ジメイのもの、③キチのもののごとく前提されていた人生に対して新たな感情を持つのである。旅は我々に人生を味わわせる。あの遠さの感情も、あの近さの感情も、あの運動の感情も、わたしはそれらが客観的な遠さや近さや運動に関係するものでないことを述べてきた。旅において出会うのは常に自己自身である。自然の中を行く旅においても、我々は絶えず④自己自身に出会うのである。旅は人生のほかにあるのではなく、むしろ人生そのものの姿である。

既に言ったように、人はしばしば解放されることを求めて旅に出る。旅は確かに彼を解放してくれるであろう。けれどもそれによって彼が真に自由になることができると考えるなら、間違いである。⑤解放というのはある物(A)自由であり、このような自由は消極的な自由にすぎない。旅に出ると、だれでも出来心になりやすいものであり、気まぐれになりがちである。人の出来心を利用しようとする者には、その人を旅に連れ出すのが手近な方法である。旅は人を多かれ少なかれ冒険的にする、しかしこの冒険といえども出来心であり、気まぐれであるであろう。旅における漂泊の感情がそのような出来心の根底にある。しかしながら気まぐれは⑥真の自由ではない。気まぐれや出来心に従ってのみ行動

する者は、旅において真に経験することができぬ。旅は我々の好奇心を活発にする。けれども好奇心は真の研究心、真の知識欲とは違っている。好奇心は気まぐれであり、一つの所にとどまって見ようとはしないで、次から次へ絶えず移ってゆく。一つの所にとどまり、一つの物の中に深く入ってゆくことなしに、いかにして真に物を知ることができるであろうか。好奇心の根底にあるものも定めなき漂泊の感情である。また旅は人間を感傷的にするものである。しかしながらただ感傷に①つていては、何一つ深く認識しないで、何一つ独自の感情を持たないでしまわねばならぬであろう。真の自由は物（ B ）自由である。それは単に動くことでなく、動きながら止まることであり、止まりながら動くことである。動即静、静即動というものである。人間到る処に青山あり、と言う。この言葉はやや感傷的なきらいはあるが、その意義に②した者であって真に旅を味わうことができるであろう。真に旅を味わい得る人は真に自由な人である。旅することによって、賢い者はますます賢くなり、愚かな者はますます愚かになる。日常交際している者がいかなる人間であるかは、いっしょに旅してみるとよく分かるものである。③人はその人それぞれの旅をする。旅において真に自由な人は人生において真に自由な人である。人生そのものが実に旅なのである。

（三木清「旅について」）

問一 傍線部④～⑥の片仮名を漢字に直しなさい。（5点）

問二 傍線部①を更に強めながら、この部分と照応している一文を、前段、後段からそれぞれ一つずつ抜き出しなさい。（6点）

問三 傍線部②が可能になるのは、特に「旅」の持つどのような側面によるのか、前段の語句を用いて二十字以内で説明しなさい。（5点）

問四 傍線部③と同じ意味で使用されている語を後段から五つ抜き出しなさい。（5点）

問五 （ ） A・Bに、「においての」「からの」のうちいずれかをそれぞれ補いなさい。（4点）

問六 傍線部④を獲得するためにはどのような姿勢が必要なのか、後段の語句を用いて三十五字以内で説明しなさい。（7点）

問七 傍線部⑤の意味として最も適切なものを次から一つ選んで記号で答えなさい。（3点）

ア「旅」はその時その時の漂泊の感情によってその在り方が左右されるということ。

イ「旅」は「人間到る処に青山あり」の心境でするものであるということ。

ウ「旅」は人格、人間性によってそれぞれありようが変おるということ。

エ「旅」は人それぞれの冒険心、好奇心によって人生の旅になりうるということ。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

そこ(雑器＝日常の用具のこと)にはとりわけて彩りもなく飾りもない。至純な形、二、三の模様、それも素朴な手法。彼らは知を誇らず風におごらない。奇異とか威嚇とか少しだにそれらの企みが含まれない。挑むこともなく、露わなさまもなく、いつも穏やかであり、静かである。時としては、初心な朴訥な、控えめがちな面持ちく A >見える。その美は一つとして私たちに強いく B >とはしない。美を銜う今日であるから、わけてもそれらの慎ましい作が慕わしく思える。

それらの多くは片田舎の名も知れぬ故郷で育つのである。または、裏町の塵に塗れた暗い工房の中から生まれてくる。携わるものは貧しき人の荒れたる手、拙き器具や粗き素材。売られる場所とても狭き店舗、または路上の蓆。用いらるる箇所も散り荒らさるる室室。だが摂理は不思議である。①これらのことが美しさを器のために保障する。それは信仰と同じである。宗教は貧の徳を求め、知におごる者を戒めるではないか。

②作は無欲である。仕えるためであって、名を成すためではない。ちょうど労働者が彼らの作る美しき道路に名を記さないのと同じである。作者はどこにも彼らの名を書こうとは試みない。悉くが名なき人々の作である。欲なきこの心がいかに器の美を浄めているであろう。③ほとんどすべての職工は学もなき人々であった。何故でき、何が美を生むか、これらのことについては知るところがない。伝わりし手法をそのままに受け、惑うこともなく作りまた作る。何の理論があり得よう。まして何の感傷が入り得よう。④雑器の美は無心の美である。

柳宗悦『雑器の美』による

問一 空欄<A>、<B>を補うのに適当な助詞、助動詞を書いてください。

(各2.5点、全5点)

問二 下線部①の「これらのこと」とはどういうことか、それを示すものを問題文から選んで、最初と最後の五文字(仮名も一字として計算する)を書いてください。

(6点)

問三 下線部②の「無欲」の意味を、問題文の言葉を利用して簡潔に説明しなさい。

(4点)

問四 下線部③の「職工」はほとんど無学な人人であるが、何故彼らは美しい雑器を作れるのか、その理由を簡潔に説明しなさい。(5点)

問五 下線部④の「無心の美」とはどういうものか、問題文の言葉を利用して簡潔に説明しなさい。(5点)

問題二、翻訳 (50 点)

一、次の中国語を日本語に訳しなさい。(25 点)

1. 古老的丝绸之路，历经汉、魏晋、南北朝、唐、五代、宋等朝代，中间曾数度盛衰。到了成吉思汗时期，以其强弓硬弩向欧亚大陆扩展，有不少人曾随其作横贯亚欧大陆之行。
2. 真是光阴似箭啊，进入这所大学后，一眨眼的功夫四年过去了。
3. 天上掉馅饼是指意外地不劳而获，幸运从天而降的意思。
4. 我可是“妻管严”，唯命是听。要是她没有经济收入，靠我养活，我可能就大丈夫了。
5. 中国人一向很重视为孩子起名儿。可爱的宝宝出生后，做父母或祖辈的就要翻翻字典、查查辞海，总想为他（她）取个好名字。

二、次の日本語を中国語に訳しなさい。(25 点)

いままで、なんと多くの旅をして来たことだろう。そしてこれからも、ずっと続けることだろう。旅とは私にとって何を意味するのか。自然の中に孤独な自己を置くことによって、解放され、純化され、活発になった精神で、自然の変化の中にあらわれる生のあかしを見たいというのか。

いったい、生きるということは何だろうか。この世の中に、ある時、やっと来た私は、やがて、何処かへ行ってしまふ。常住の世、常住の地、常住の家なんて在るはずがない。流転、無常こそ生のあかしであると私は見た。

私は私の意志で生れてきたわけではなく、また、死ぬということも私の意志ではないだろう。こうして、いま、生きているというの、はっきりと意志が働いて生きているわけでもないようだ。したがって絵を描くということも――

私は何を云おうとしているのか。力を尽して誠実に生きるということに尊いと思ひ、それのみが、私の生きている唯一の意義であるはずだと思つてはいるのだが。それは、上述の認識を前提とした上でのことである。

私は生かされている。野の草と同じである。路傍の小石とも同じである。生かされているという宿命の中で、せいっぱい生きたいと思っている。せいっぱい生きるなどということは難かしいことだが、生かされているという認識によって、いくらか救われる。

問題三、作文 (1500 字前後) (40 点)

私の選んだ道、将来の抱負